ＣＶ－２２オスプレイの横田飛行場への配備について（要請）

令和７年10月28日、防衛省北関東防衛局が、「2025年６月に横浜ノース・ドックから横田飛行場へ飛来したオスプレイは、2023年11月に屋久島の沖合に墜落した横田飛行場所属のＣＶ－２２オスプレイ１機の代わりとして配備されたものであるなどとの説明が米側よりあった」と公表した。

当協議会は、ＣＶ－２２オスプレイに関して、かねてから、今後の配備計画等について迅速かつ正確な情報提供を求めてきたが、未だに示されていない。また、配備に関する情報については適切に提供するとしていたにもかかわらず、今回も事前の情報提供がなく、飛来から４か月も経過したのちに配備となった事実が公表された。令和３年７月と同様に、事後的に情報が示されており、こうした対応が繰り返されていることは、基地周辺住民の米軍に対する不信感につながりかねず、遺憾である。

ついては、基地周辺住民の平穏で安全な生活を守る観点から、下記のとおり要請する。

記

１　今回の配備に当たり、事前に情報提供がなされなかった理由及び正式な配備日を明らかにすること。

２　今後の配備計画等について、迅速かつ正確な情報提供を行うことを改めて強く求めるとともに、実際の配備に当たっては、必ず、事前に地元自治体に情報を提供すること。

３　ＣＶ－２２オスプレイの運用に伴い配属されている人員数について、情報提供すること。また、今回の配備により新たに人員が配属される場合には、その人員数を明らかにするとともに、それらの人員に対する教育訓練と規律の保持を徹底すること。

４　追加配備に伴う施設整備についても、その進捗等を迅速かつ正確に情報提供すること。

５　配備機数の増に伴い、これまで以上に安全対策を徹底するとともに、今回の配備によっても、ＣＶ－２２オスプレイの離着陸回数を、極力増加させないなど、騒音等基地周辺住民の生活環境への影響を最小限にとどめること。また、運用に関する地元自治体からの要請等に対して真摯に対応すること。

６　以上の内容について、米軍に対し強く働きかけるとととともに、配備に伴う基地周辺地域の負担増加に対する軽減策を講ずること。

令和７年 10 月 30 日

防衛大臣　　小泉　進次郎　殿
外務大臣　　茂木　敏充　殿
北関東防衛局長　　池田　眞人　殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会　長	東京都知事	小池	百合子
副会長	昭島市長	臼井	伸介
	立川市長	酒井	大史
	福生市長	加藤	育男
	武蔵村山市長	山﨑	泰大
	羽村市長	橋本	弘山
	瑞穂町長	山﨑	栄